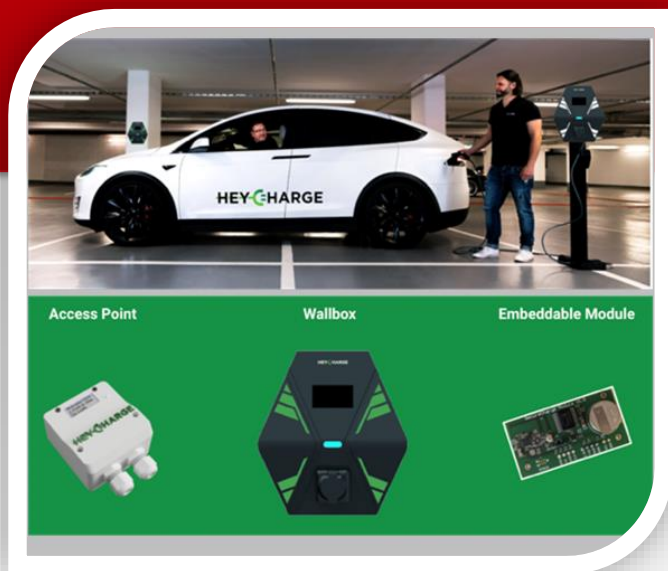


分野: 電気自動車の充電、モビリティ、エネルギー



設立年	2020
ウェブサイト	www.heycharge.com
所在地	ミュンヘン(ドイツ)
世界市場での実績	ドイツ、オーストリア、フランス、(アメリカ)
日本語対応	× (Hack Osaka 2022商談会では逐次通訳対応)



HeyChargeは、これまでの常識を覆す通信技術を開発し、マンション、オフィス、ホテルなどの屋内環境において電気自動車充電インフラをスピーディーに展開させることを可能にするプラットフォームです(パッケージ化済)。HeyChargeは、独自のユーザーエクスペリエンスを提供します。当社のSecureCharge技術を使用することで、現地でのインターネット接続は不要になります。SecureChargeに対応する全デバイスでは、Bluetoothを介してHeyChargeアプリまたはSDKと直接通信し、スマホと充電器間の通信時間を最小限に抑えつつ、システムを利用することができます。個別請求やりモートメンテナンスなどのスマート機能を実現するため、スマートフォンが再びネットワークに接続すると、充電器から受信したすべてのデータはバックエンドと同期されます。すべてのタイムクリティカルな動作は直ちに実行されます。もう待たされることも、イライラすることもありません。

社会が抱える問題とその解決策

地球環境保護に関する目標を達成するためには、電気自動車(EV)の普及率を高める必要があることは明らかです。EVの登録台数は既にここ数カ月で増加し、50%に達しており、今後数年間で90%の到達率を目指しています。しかし、EVの普及は、EVのドライバーが少なくとも1つの充電スポットにアクセスできるようになって初めて可能になります。私たちHeyChargeは、マンション、オフィス、ホテルにおける充電インフラの高い拡張性を引き出し、誰もが手頃な価格で充電を利用できるようにする技術を構築しました。

自社・製品の強み

- 最高のユーザーエクスペリエンス
- 最低コスト(ハードウェア、設置、運用に関して)
- パートナーのエコシステム(ハードウェア、アプリ、ITランドスケープなど)に柔軟に組み込むことができます。

ビジネスモデル

公益企業者、充電ステーションメーカー、モビリティ事業者などのパートナーのエコシステムに組み込むことができるハードウェアおよびソフトウェアサービスを提供しています。ハードウェア費用(イニシャル、1回限り)に加えて、管理用バックエンドサービスとアプリの運用のために毎月発生する料金(SaaS)を請求します。

Hack Osakaの参加目的

大阪・日本において強力なプレゼンスを発揮し、公益事業、モビリティ、不動産、自動車製造、充電ステーションの製造分野でパートナー候補とのビジネス関係を確立のうえ、本技術を共同で市場に投入し、日本の国内外で拡大させる計画をしています。パイロットプロジェクトのパートナーに出会い、共同展開するためのビジネスモデルを構築できることを楽しみにしています。